



2019年4月26日

各位

会社名 株式会社 東京エネシス
 代表者名 代表取締役社長
 社長執行役員 熊谷 努
 (コード番号 1945 東証第1部)
 問合せ先 経理部長 小林 孝彦
 (TEL 03-6371-1947)

業績予想との差異に関するお知らせ

2019年1月24日に公表した2019年3月期の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2019年3月期通期連結業績予想数値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 65,700	百万円 2,800	百万円 3,000	百万円 2,100	円 銭 61.98
実績値 (B)	68,644	4,822	5,031	3,508	103.64
増減額 (B - A)	2,944	2,022	2,031	1,408	
増減率 (%)	4.5	72.2	67.7	67.1	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	68,709	4,205	4,356	2,904	86.07

2019年3月期通期個別業績予想数値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 65,000	百万円 2,600	百万円 2,800	百万円 1,900	円 銭 56.08
実績値 (B)	67,659	4,535	4,782	3,271	96.64
増減額 (B - A)	2,659	1,935	1,982	1,371	
増減率 (%)	4.1	74.4	70.8	72.2	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	67,799	3,960	4,148	2,773	82.19

【差異の理由】

前回の業績予想の修正においては、第3四半期までの原子力発電設備及び太陽光発電設備の工事延伸等による売上高の減少や、競争環境下での原価率悪化の影響を勘案し、通期の見通しについて下方修正しました。

修正以降の期末にかけて、火力及び原子力発電設備工事において、補修や安全対策工事の工期前倒しや計画外工事の受注等により、売上高は前回予想を上回りました。利益面においても、上記の売上高の増加と併せて、工事原価低減、要員の効率的配置による工事採算性の改善、全社における徹底した経費削減努力等による利益率向上等から、前回予想を上回りました。

以上